



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

2024日音協沖縄行動

復帰から5年を経て「変わらぬ基地の島沖縄の内実を問い直す」ために1978年からスタートした平和行進は、復帰52年目の今年47回目を迎え「あらためて復帰の内実を問いながら、地上戦を体験した沖縄から基地のない、戦争のない平和な世界の創造を訴えていく」ことを趣旨に開催されました。諸事情により出迎えや送り出し演奏などができないこととなりましたが日音協は音楽をもって参加し、5月17日から18日の日程で沖縄行動を開催し日音協の仲間も含めて11人が参加しました。

17日の「5・15平和行進全国結団式」では基調講演「沖縄と連帯する意義」のうち、当山実行委員会共同代表によるあいさつや平和行進団長などによる決意表明、翌日の平和行進成功に向けた意思統一をはかりました。終了後には宮城スタジオをお借りして日音協結団式と、翌日の平和行進にむけてうたと演奏の録音をしたのち、夕食交流および①Rico&Tatsuy ②おだかずや③Piggy ④沖音協⑤宮城康一さんによるミニコンサートをおこないました。

翌18日は普天間基地包圍

(南ウイング)コースに参加しました。宜野湾市役所で出発式をおこない平和行進がスタートし、前日録音した音源に合わせて「沖縄今こそ立ち上がろう」「座りこめここへ辺野古バージョン」「沖縄を返せ」「シユゴンがすむ海」「ふるさと沖縄」「私たちは許さない 沖縄バージョン」「戦争に力貸さない」「5・15平和行進マーチ」「Songs For Gaza」「大きな橋」「どこへ行く岸田」の11曲をうたいながら、先導車からシユプレヒコールの呼びかけがあると



県民大会で全体合唱する日音協メンバー

きには「基地を返せ」「オスプレイは出ていけ」などと続き、県民大会会場の宜野湾市立グラウンドまでの7・5キロを3時間かけて歩きました。

別の北ウイングコースと合わせて普天間基地を一周したことになり、基地の広さと民家や学校までもが基地と隣接していることも分かり、あらためて「世界一危険な基地」を実感しながらの行進となりました。「5・15平和とくらしを守る県民大会」では、「平和とくらしを守るため、基地のない沖縄、平和な日本、戦争のない世界の実現をめざすことを宣言し、全国のそして世界の友人に誓う」ことを県民大会宣言で確認しました。参加者からは「送り出しや



元気に行進



ごくろうさまでした

出迎えの演奏ができずに残念だったが、うたいながら平和行進に参加し訴えることができた。「歩きながら戦争や平和について考えることができた」「9月のはたらくものの音楽祭につなげていきたい」などの感想を受け終了しました。今回は平和行進の結団式から県民大会までの短い期間に合わせた日音協沖縄行動となり、平和学習や資料館・戦跡巡りなどのプログラムなしでの2日間でしたが、あらゆる戦争に反対し平和を求めたいの想いをさらに強くするために、来年はぜひみなさんも参加してほしい、体感しましょう。(根本賢治)

FMカンパニーが全道メーデーで熱い演奏



FMカンパニーの精鋭たち



BBB生誕200歳記念ライブ好評限定発売中。ワンドリンク付き1000円です。

5月1日、少し肌寒いが青空が広がる札幌大通公園8丁目広場に組合員や退職者など3000人が結集し、第95回全道メーデーが開催された。

FMカンパニーは式典開催前の30分のオープニング演奏と式典後のデモ行進の送り出し演奏を担うことになった。

演奏曲は8曲

- ① おお自由
- ② 南へ
- ③ 晴れた五月
- ④ Aひろば
- ⑤ やさしい心を武器にして
- ⑥ 政治を変えるぞ
- ⑦ We Try No.1
- ⑧ 世界をつなげ花の輪に

デモ行進の送り出し曲は7曲

- ⑨ On the road
 - ⑩ 戦争はNO!
 - ⑪ 武器を捨てて
 - ⑫ すべての人に
 - ⑬ たとえつらくても
 - ⑭ Let's sing a song
 - ⑮ ブルーマウンテンサイド
- の15曲でした。

精鋭8人で、アコースティックギター、ベース、エレキギター、トランペット、ブルースハーブ、そして今回からカホンも加えての厚みのある演奏とうたごえで会場は大いに盛り上がった。

コロナで3年間取りやめになっていた「うたごえ」は、昨年の祭典から再開されたがFMのメンバーのほとんどが「働かない退職者」になっていたため、いつまで労働者の祭典で演奏できるのか不安ではある。

とりあえず今回のメーデーは悔いのない演奏が出来たかな。

祭典終了後は、午後から佐藤会長宅のガレージで恒例のFMカンパニーメーデーを敢行し、BBQで大いに飲んでお祝いをしました。(磯野宏之)

元気が取り柄のブービーのメンバーも歳を重ね、3人合わせて今年で何と200歳！でもまだまだこれからである。今宵はみんなに歌と笑いを「キックバック」するぞ。

日時 **2024 7.13 (SAT)** Open 16:30 Start 17:00

場所 **LoRe 1スタジオ** 中央区南9条西4丁目1-7 韓国文化会館 地下1階 (1Fあすか信用組合)

木戸銭 1,000円 (ワンドリンク付き)
会場ドリンク類の原価販売あり (ビール、地酒、ソフトドリンク、おつまみ)

連絡先 090-5953-2458 (磯野)
hiroiso2021@gmail.com
申し込みはメールか
電話で
QRコードでメール
読み取り出来ます

地下鉄南北線 中島公園駅
2番出口から徒歩30秒

ブービーバンド生誕200歳記念ライブ 「キックバック」でイッツ笑タイム

ブービーバンドは7月13日17時からススキノにあるLoRe1スタジオにて2年ぶりの単独ライブを行う。今年は桑野、磯野、榊原の3人合わせてちょうど200歳。3年前のリモートミュージックの 때가190歳だったので200歳の節目のライブを目指していた。

会場は韓国会館の地下にある隠れ家的な貸しスタジオ、観客は限定40名とプレミアチケットになるか。ビール、日本酒などワンドリンク付きで販売もする。ファンからの選考(先行)販売中であるが、全国からの希望者は早めに相談下さい。(磯野宏之)

活発な掛け合いが素敵な仕上がりに 若い会員「との」交流も 上村さん電撃参加!

「2024若い会員の交流会」は、5月11日・12日の2日間、長野市内の花みずき貸スタジオで7名(担当幹事1名含む)の参加者により開催されました。

松本会長のあいさつを受け、全体スケジュール・沖縄音楽祭概要を確認した後、2023長岡音楽祭での「若い会員の交流会」の演奏(「群青」)響け!! 若者の想い(〜)を映像で振り返りました。

事前に参加者のグループプレーNEで話し合った沖縄県出身アーティストの曲と日音協でおなじみの2曲を含む3曲を2日間取り組みました。



あいさつする松本会長(右端)

2024若い会員の交流会

2023若い会員の交流会(第54回はたらくもの音楽祭-長岡リリックホール)

2024年5月11日(土) 13:00
~5月12日(日) 12:00

花みずき貸スタジオ
(長野県長野市)

日本音楽協議会

若い会員の交流会・パンフレット



ブラッシュアップ!!

スケジュールの関係で参加者7人が沖縄音楽祭に一堂に会するのは難しいため、1日目(11日)の夕方、青木瀬奈さん・美夢さんが上村一郎さん(長野県支部)に連絡し、2日目(12日)に上村さんが急遽参加してくれることになりました(急なお誘いにも関わらず、快くお越しいただき、ありがとうございます)。



上村さんが2人? 鏡張りのスタジオでした

さまざまな世代の会員が集った「若い会員の交流会」では、夜の懇親会を含め、若い会員「との」交流も活発に行われました。

沖縄音楽祭では、「2024若い会員の交流会」で取り組んだ3曲(音楽祭プログラムをお楽しみに!!)、「若い会員」の力を思う存分に発揮したパフォーマンスをどうぞご期待ください。

(竹内 崇史)



交流会を終え、みんなで昼食

- 2024若い会員の交流会
参加者(50音順・敬称略)
- 青木 瀬奈(長野県支部)
 - 青木 美夢(長野県支部)
 - 高野 直美(新潟県支部)
 - 高橋 円(東京都支部)
 - 鳴澤 庸夫(茨城県支部)
 - 松本 敏之(茨城県支部)
 - 竹内 崇史(新潟県支部)
- ※飛び入り参加
上村 一郎(長野県支部)
- 担当幹事)
日音協(会長)



花みずき貸スタジオ

「南風(ふえーぬかし)」⑦ 慰霊の日に恒久平和を祈念する 沖縄県支部長 平良 昌史

6月23日は慰霊の日。沖縄県条例では、「我が県が、第二次世界大戦において多くの尊い生命、財産及び文化的遺産を失った冷厳な歴史的事実にかんがみ、これを厳粛に受けとめ、戦争による惨禍が再び起こることのないよう、人類普遍の願いである恒久の平和を希求するとともに戦没者の霊を慰めるため、慰霊の日を定める。」とあります。

1945年6月23日に、第32軍司令官の牛島中将が自決した日をもって、組織的戦闘が終結したとされ、その日を慰霊の日としました。牛島中将の最後の命令が「生きて虜囚の辱めを受くることなく、悠久の大義に生くべし」と、他の軍人には最後まで闘うことを命令しました。

学徒動員や日本軍と行動を共にした多くの県民が、この6月23日以降に亡くなり、悲惨な沖縄戦の悲劇は9月まで続き、「軍隊は住民を守らない」ことを県民は学びました。

この慰霊の日に向けて、学校では沖縄戦や平和についての特設授業が行われ、地元の新聞では、沖縄戦体験記などの記事が掲載されています。慰霊の日には、糸満市摩文仁の平和祈念公園において沖縄県と県議会主催の「沖縄全戦没者追悼式」が行われ、戦没者の御霊を慰めるとともに世界の恒久平和を願う沖縄県民の思いを世界に発信しています。

同時に、沖縄県内に散在する各地の慰霊塔などでも一斉に慰霊祭が行われます。線香をたき厳かに行われるものもあれば、「清明祭(シーミー)」のように、重箱を広げるところもあります。

私は、午前中、母校の二中健児の塔の慰霊祭に参加し、対馬丸記念館での青少年プログラムの発表を見学、その後、連合平和オキナワ集会に参加しています。

沖縄戦があったこの地に、広大な米軍基地の重圧を強いられ続け、さらに自衛隊基地の増強で、再び本土防衛の盾となる状況の中で、県民が慰霊の日で祈るのは、2度と悲惨な戦争を起こさない平和沖縄です。



日音協と那覇市職労は一緒に行進



行進前に音源録音



辻元清美参議院議員も一緒に行進しました

那覇文化芸術劇場なはーと小劇場
沖縄音楽祭 9・21(土)〜22日(日)



2024 沖縄平和行進

雨のメーデーに歌がひびく(香川)

香川県中央メーデーは休日となる4月27日(土)に例年のサンポート高松多目的広場で開催されました。5日前の歌声要請で急遽メンバー確保と選曲をおこない、高田Vo、森Vo、細川G+Voで「聞け万国の労働者」「世界をつなげ花の輪に」「peace & happy」「がんばろう」とメインの「政治を変えるぞ」を開会前に歌いました。PAは高田会長が余裕あるスペックで機材を組み、うたごえが広場に響き渡りました。

中讃東地区集会は本来のメーデーすなわち5月1日(水)に瀬戸大橋記念公園マリンドームで開催しました。ここでも音響を担当した会長の要請で開会前の歌声を実施しました。三好EG、高田Vo+三味線、井下Vo、細川G+Voで、「聞け万国の労働者」「peace & happy」「政治を変えるぞ」「がんばろう」を演奏しました。屋外ながらドームで雨がかからず、音がお風呂のように反響し、気持ちよく歌えました。

3.9丸亀アクションで初めて歌った「政治を変えるぞ」、今回は急な要請のため事前練習が出来ず、代わりに歌い方を指示する譜面を作りデータ送信しました。作者の笠木さんには申し訳ありませんが、原曲(うたのひろばⅢp82、1980年作)の13小節目2拍目の16分音符+付点8分音符を前後逆にし(複数箇所)、歌詞の強調でアクセントやスタカートを追加し、語尾の長さを変更させていただきました。

(細川 剛)



香川県中央メーデー



中讃東(坂出)地区メーデー

沖縄音楽祭事前情報 II 沖縄戦の深い傷跡が残る渡嘉敷島II

渡嘉敷島へは、那覇から日帰りで行くことができると知り、沖縄行動の次の日に、日音協沖縄県支部の元会員の泰真実さんに案内いただいた。渡嘉敷島に行ってきた。渡嘉敷島は、1945年、3月26日、日本軍の命令で多くの島民が集団自決により命を落とした、深く醜い戦争の傷跡が残っています。そして安倍政権時に、その史実を教科書から削除しようとしたことでも注目を浴びた島です。

この日参加したのは、会長の松本さんと、沖縄行動担当の根本さんと私の3人。海外からの旅行者で満席の渡嘉敷島行きフェリーは、10時に那覇の泊港を出て、1時間余で渡嘉敷港に到着。乗船客の殆どはビーチに向かったらしく、戦跡に向かう車は、島のメインロードを走っていないから、泰さんに運転をお願いして走る私たちのレンタカーの他は対向車すら殆どないという事実が、まず最初の衝撃でした。

先に、慰霊碑「白玉之塔」に立ち寄り戦争で亡くなられた方のお名前を拝見し、その後集団自決跡地へと向かいました。そこは、山の頂から少し下った、どこにもあるような緑の谷間でした。が、霊など全く信じていないはずなのに、異様なざわめきと言葉にならない声が聞こえてくるようで、とても長くは立って

いられない気持ちになってしまいました。だからでしょうか、その後泰さんが案内してくれた、島の最高峰からの慶良間諸島の眺めも、観光客で賑わう白い砂浜もケラマブルーと呼ばれる透き通る海の色も、美しい分だけ悲しく見えました。そして、政府の思惑通り、たった79年前のことが、すっかり遠い昔のこと、更に言えばなかったことのようになっている現実を見てきました。泰さんが、「運が良ければ鯨の潮吹きがみれますよ」とおっしゃるので、乗船中、真面目に海面を見つめていましたが、見えたのは白くはじける波しぶきとその先に広がるニライの海だけでした。

沖縄戦で起きた事実を学びたい方は、日程に余裕があれば、是非、渡嘉敷島へ！運が良ければ、鯨さんにも会えるかも。

(坂口美日)



歌の力が物語るもの 130

菜萁坂つた行動 5/24 (510回) 報告 Rico

【参加者】守屋さん、イサさん、かおるさん、坂口さん、長島さん、なべさん、周平さん、達哉、森 計9名

今日は24日。「放射能汚染水を止めろ!24日行動」が官邸前で行われる。2023年8月24日に始まった汚染水放出に抗議して、毎月24日に行動が呼びかけられている。

「反原発うたいたい」も思いは同じ。みんなで官邸前に参加した。官邸前に着いた私を見つけて実行委員会の人が「お、日音協さんだ。ほかに来る?」と声をかけてきたので「反原発うたいたい」の

水道橋だより

▼日音協は5月29日第7回幹事会を開催しました。▼主に9月の沖縄音楽祭に向けての取り組みが話されました。▼今回の沖縄県実行委員会については、沖縄県支部と連絡をとりながら、準備が進められています。▼沖縄県議選が6月7日告示・6月16日投票で予定されていますので、終了後、実行委員長を県内で名の通った方に要請し、副実行委員長と事務局長を日音協沖縄県支部が担うとともに、実行委員を県内の労働組合やサークル、市民団体に協力を要請、そして日音協沖縄県支部会員が担い、第55回はたらくもの音楽祭沖縄県実行委員会の結成をめざしています。(佐藤)

▼音楽祭終了後のオプションツアーの募集をしていましたが、締め切りの4月30日を過ぎて「最少定員」に達しませんでしたので、中止することとなりました。皆さん、パックされたツアーで参加するのでチケットの変更ができなかったようです。▼個別に有志でツアーを組むという話もあるようですが、個人の判断で。(佐藤)

▼6月の予定。▼1~2日、北信越ブロック合宿。岩手からも参加するとか。▼2日(調整中)、新潟県支部総会。▼8日、岩手県支部総会。▼13日、プービーバンド生誕200歳記念ライブ。▼13~14、FMカンパニー合宿。(長野・塚本さん参加)▼29日、第8回幹事会(最近Zoom開催)。(佐藤)

終了後、菜萁坂に移動。時刻は19時半を過ぎたところ。国会議事堂のライトアップが消える20時まで歌おう。坂口さんと森家ふたりは先週、日音協沖縄行動で平和行進に参加してきた。森家ふたりは週明けまで沖縄にいて、

「あたりまえの地球」は反原発の思いで歌ってきた曲だけど、反基地や反戦でもこの歌の大切さを感じる。「あたりまえ」を守るために、闘っているんだ。

「明日を殺すな」「ああ福島」と続ける。周平さんは尺八やらフルートやらトランペットやら、曲ごとに楽器を代えていく。三線もあるのだが、達哉が借りっぱなしだ。坂口

仲間みんなで来ました。と、ちよっと得意になって答えた。「じゃあ、歌を始めよう。」とオープンニングで歌うことに。ずらりと並んで「水に流すな」「メッセージ」をオープンニングで歌い、集会の終盤には坂口さんが、福島の活動の報告と「これ以上海を」を歌った。

「あたりまえの地球」は反原発の思いで歌ってきた曲だけど、反基地や反戦でもこの歌の大切さを感じる。「あたりまえ」を守るために、闘っているんだ。

「声よ集まれ歌となれ」。「踏まれても繰り返し立ち上がる 君と一緒にたたかえる」と歌う。まさに今の気分。歌っている途中で国会議事堂の明かりが消えて、菜萁坂つた行動短時間バージョンを終了した。また来週!誰かが立ち止まってくれることを願って歌おう。

月・火の2日間、塩川と安和の行動に参加してきた。そこは埋め立てのための土砂搬出の現場。ダンブの出入り口を牛歩で遮り、走行を妨げるのだ。たくさん警備員が口々に歩みを急かす。機を見て投入される県警の若者たち。そんな報告をしながら沖縄の歌をリクエスト。「ふるさと沖縄」「沖縄に基地はNO!NO!NO!」。

さんのウクレレもはいて、伴奏は一段と多彩になっていく。かおるさんの手話ダンスが、明かりに照らされる国会議事堂に向かって揺れる。「そんな世界が一番」を歌っていた時、ひとりの青年が植込みの端に立ち止まってしばらく聴いていた。曲が終わる前に立ち去ってしまったので、声をかけられなかった。残念。また来てくれないかな。一緒に歌おう。

▼日曜日の朝は、TBSテレビの「サンデーモーニング」という番組を見ている。関口宏の司会降板で話題になったが、2時間弱の間帯で視聴者の視点でわかりやすく、政権の問題を鋭く指摘するコメントライターが登場し見応えがある。一部の視聴者に左翼寄りとの批判があるようだ▼ただ、気に入らないのがスポーツコーナー。こんなコーナーなんて30分もかけるのか。テレビ局は利益の上がないスポーツは取り上げない。大きなお金が動くスポーツだけに焦点を当てて騒いでいる。万人がスポーツ好きで視聴率が稼げるのも思っているのだろうか▼「全世界の注目が集まりました」とのアナウンスに、なんのことかと思いきや、大谷翔平が結婚することになったんだって。こじつけること日本ではスポーツは野球、政治は自民党が続いている。どちらもUSAで、日本がコントロールされている道具になっている▼新聞もそうだ。全体で広告を除けば20面しかないのにそのうち4~5面も割いている。野球の結果を流すくらいなら、ニュースをもっと深く掘り下げて報道して欲しい▼もとより、スポーツは観るものではなく自分の身体で体験し楽しむもののはず。体験する環境の貧しさ、観る側に追いやっている。

どん行

(179)

飯島貞親

観るものではなく自分の身体で体験し楽しむもののはず。体験する環境の貧しさ、観る側に追いやっている。